



# ichinomiyaen

社会福祉法人児童愛護会 特別養護老人ホーム一宮苑

発行 社会福祉法人児童愛護会特別養護老人ホーム一宮苑  
千葉県長生郡一宮町一宮389 ichinomiyaen@mail.goo.ne.jp  
TEL 0475(42)1180 FAX 0475(42)1182

## 第37号

わたしたちは、利用者の皆様のその人らしい生活を大切にし、笑顔のあふれるぬくもりある生活ができるよう応援します。  
一宮苑基本理念



## 盆踊り

8月9日、盆踊り大会を開催しました。皆さんこの日のために機能訓練指導員と共に練習してきました。

まずは円になり、法被やレイを着用していただきました。お揃いの衣装に少し照れくさそうにしながらも楽しんで下さっている姿や、法被を着用する際に隣のご利用者同士でごく自然に言葉を掛け合う姿を拝見し、職員の気持ちもほんわかと和みます。

音楽が流れると、皆さん大きく身体を動かし踊って下さいました。普段は「なかなか腕が上がらなくてね」と仰っていたご利用者も、しっかりと腕を振り笑顔で参加して下さっていました。踊りをやっていたというご利用者はひととき優雅な踊りを披露して下さいました。

締めは「花笠音頭」です。鮮やかな花の装飾で彩られた笠を手に、皆さん最後まで踊りきって下さいました。



## かき氷

連日の猛暑の中、一宮苑では今年もカキ氷で涼をとりました。

今年はカキ氷機を新調し、例年以上にみずみずしくフワフワのカキ氷が出来上がりました。

ご利用者にも好評で、沢山の方から「おかわり！」の声が上がりました。

イチゴにメロンに宇治金時、皆さんお好きな味を選んで召し上がっていただきました。ご利用者同士で舌を見せ合い、「舌が赤くなってるよ」「そっちは緑だよ」と、童心に返ったようなやり取りも聞かれました。

水分補給には十分な配慮が必要なこの時期、楽しみながら水分補給ができるカキ氷は、一宮苑の夏には欠かせない一品となっています



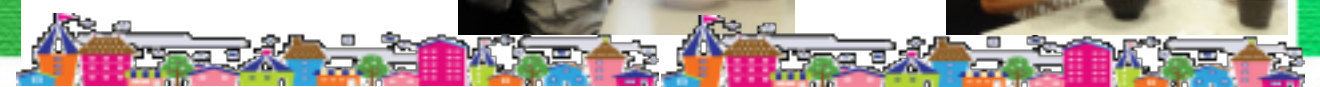
## ケアハウス楠の木ホーム

7月18日と23日の2日間で外食会を行いました。今回は皆さんからリクエストがあった回転寿司で、はま寿司茂原店へ行ってきました。

「今はアジが旬だから、必ず食べてくるつもりだよ」「トロが好きだから、たくさん食べたい」と、行く前からお寿司の話題がよくあがり、とても楽しみにされていた様子でした。タッチパネルの注文からレーンで運ばれてくるお寿司をご自分で取って召し上がっていただきました。「注文したらすぐに来たよ。すごいね」と驚いておられました。

後に行かれたグループの方達は先に行った方の話を参考に迷うことなく、次々に注文されていました。又、ラーメンや豆腐サラダ等、お寿司以外も大好評でした。

これからも、皆様の素敵な笑顔に出会える行事を行いたいと思います。



## デイサービスセンター

デイサービスで相談員をしております、御園と申します。

特別養護老人ホーム一宮苑で介護員として入職し、その後デイサービスの相談員となりました。最初は入所とデイサービスの違いに戸惑いがありましたが、今は楽しく仕事をする事ができています。

私事ではありますが、7月に第一子が誕生しました。デイサービスのご利用者には自分の孫のように大変気にかけていただきお祝いの言葉をかけていただいたりと、大変うれしく思っています。

一宮苑のデイサービスでは外出は行っていませんが、四季を感じていただけるような行事を行っています。

今年度のこれからの行事としては、10月に運動会、12月にはクリスマス会を開催する予定しています。特にクリスマス会は職員が仮装したりとご利用者にも大変好評の声をいただいています。

これからもご家族、ご利用者のためにより良いデイサービスを作りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



# 灯籠作り

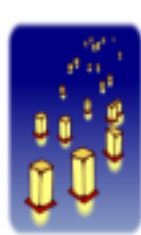
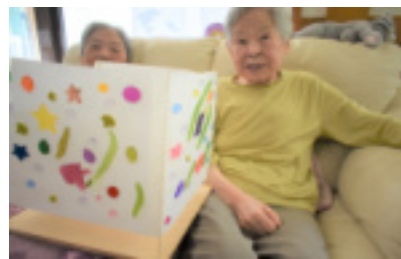
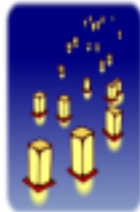
お盆を迎えるにあたり、ご利用者と職員で灯ろう作りを行いました。

まずは木材で枠組みを作り、その周りを和紙で囲っていき、基本となる灯ろうが完成です。和紙が乾いたら、塗り絵や切り絵等、様々な方法で灯ろうに彩りを加えていきます。一人で黙々と作り上げる方、周囲の方と相談しながら作る方、過程はそれぞれですがどの作品も丁寧に心を込めて作り上げていきます。

最後に皆さんで一つの灯とうを作りました。なるべく多くのご利用者が参加できるように、和紙にシールを貼っていく形を取りました。完成した灯ろうに明かりを灯すと、優しい光がじんわりと輝き、なんとも儂い雰囲気を醸し出していました。この光景には、皆さんもうっとりとした表情をされていました。

灯ろう作りの最中、ご家族の事やご家庭でのお盆の支度の様子等、様々なお話を伺うことができました。

そんな思い出のひとつひとつが、今回の灯ろうにも込められているのだと思います。



# 施設長だより

## 働き方改革について

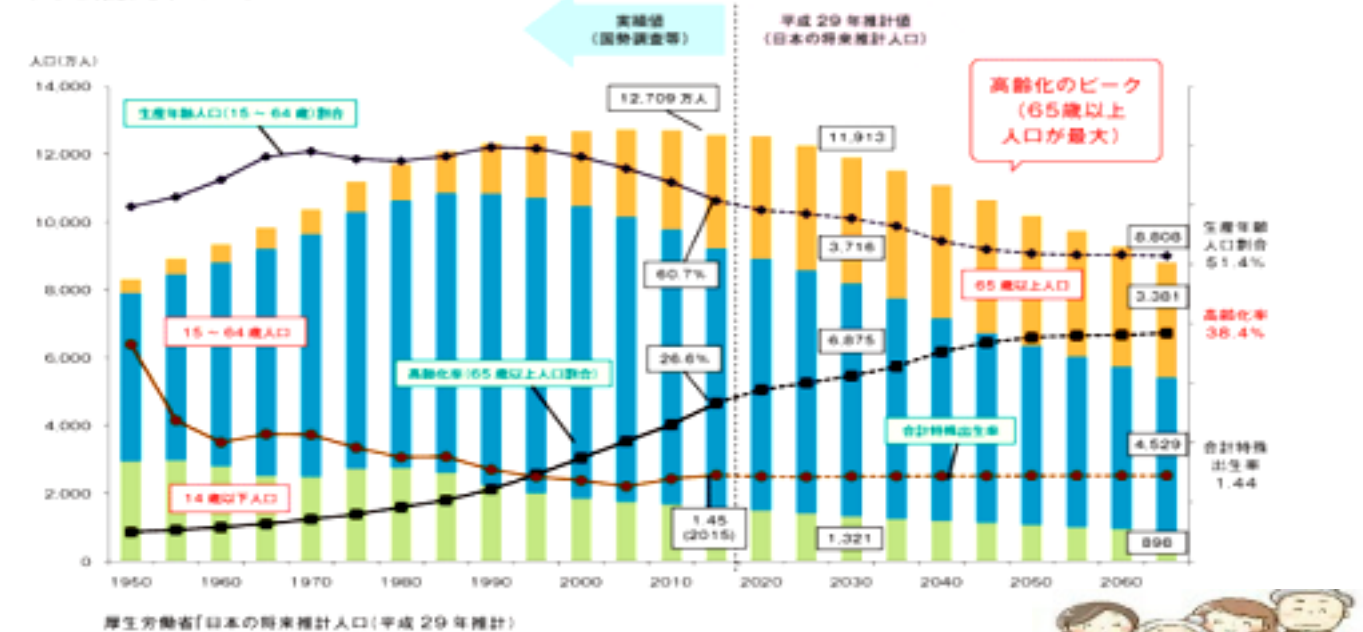


我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。

「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるように刷ることを目指しています。

図表1 人口の年次推移

日本の人口は近年減少局面を迎えている。2065年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は38%台の水準になると推計されている。



# 毎年の楽しみ



今年もご利用者と植えたチューリップを見に、白子町役場に行ってまいりました。

会場へ向かう車中では、車窓から見える田んぼを見ながら田植えの話をされ、昔を懐かしんでいらっしゃいました。会場に到着すると、畑一面に咲き誇った色とりどりのチューリップに歓声を上げていらっしゃいました。一宮苑で植えた球根も無事に咲き、赤や黄色のチューリップが風に揺れ、私たちの目を楽しませてくださいました。

「綺麗に咲いたわね」「切ってしまうのがもったいないわね」と惜しまれながら一宮苑に持ち帰るチューリップを切って下さいました。

最後に会場内をぐるっと一周すると、様々な品種・色・形のチューリップの多さに驚かれていました。限られた時間の中でしたが、たくさんの素敵な笑顔が見られ、とても充実した時間を過ごすことができました。



# from Kitchen



一宮苑では月に一度行事食を提供させていただいています。今回は5月と6月の行事食をご紹介します。5月10日は母の日の献立、6月14日は父の日の献立を召し上がっていただきました。

ご利用者の皆さまは、父として、母としてご家族のために今まで懸命に過ごしてこられたことと思います。そのご苦労を労う意味でもお食事を楽しんでいただければ幸いです。

